

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4290100611		
法人名	有限会社メディカル葉山		
事業所名	よなわグループホーム やすらぎ		
所在地	長崎県長崎市長崎市岩屋町25-7 2階		
自己評価作成日	令和4年 2月 10日	評価結果市町村受理日	令和4年9月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/42/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内
訪問調査日	令和4年 4月 11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・24時間対応できる訪問診療の医療機関と提携している ・職場のチームワーク・助け合いの心をもって、仕事に取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、大型商業施設や学校、病院に隣接した交通の便が良く賑やかな市街地に立地している。「家庭的な雰囲気の中で安心した生活を目指す」という理念のもと、「日本を支えてきた高齢者に感謝し恩返しをする心」を大切にされた支援に努めている。入居時に利用者の人生・生活史を詳しく聞き取り、体調や状況の変化を丁寧に把握し、職員全員が介護計画の作成に携わり、支援に取り組んでいる。また、事業所では、職員にさまざまなオンライン研修を推奨しており、支援の質の向上に繋げている。職員は記録の重要性を理解し、利用者の些細な変化も見逃さないよう努めており、記録から利用者の日々の様子、変化が窺える。利用者の意思を尊重し、安全安心な生活を見守るという支援の在り方に理念の実現に向けた事業所の姿勢が見て取れる。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の実現に向け努めている。	理念“家庭的な雰囲気の中で安心した生活を目指す”を掲げ、利用者の意思を尊重した支援に努めている。朝礼で理念の意識付けを行っているが、コロナ禍では集まることを制限しているため、朝礼の方法を見直し中である。本人本位の支援でゆとりと日中を過ごす利用者の様子が窺える。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	以前は地元の小・中学校との交流などあったが、コロナ禍でできていない。	自治会に加入しているものの、コロナ禍のため積極的な活動は出来ない状況である。以前は近隣の小中学校との交流や、地区の包括支援センターの依頼で、地域の介護施設による住民向けの介護教室に協力していた。現在、市中感染の状況を考慮し、地域との交流を検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生に対して行う認知症サポート講座等を地域包括が主催し参加している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事故報告に対応の仕方についてアドバイスを頂いております。	地域包括支援センター・認知症サポートリーダー等が出席し、意見交換を行っている。毎回テーマを決めて話し合い、重要な決定事項は職員に伝達している。全家族に請求書郵送の折に運営会議事録を送付している。コロナ後の活動についてアドバイスを受け、真摯に対応している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加してもらっている。	事業所は、利用者に関わる相談、保険の切り替えなど、担当する行政部署と連絡を取り合っている。行政から勉強会や介護、コロナ感染予防対策に関する最新情報の案内を得ている。職員はヒヤリハットや不適切ケア等の研修にオンラインにて参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を3か月に1回開催し身体拘束の勉強会を行っている	身体拘束委員会を設置し、全職員が勉強会に参加できるように3ヶ月ごとにメンバーを入れ替えている。厚生労働省発行のDVDを用いて内部研修を行うと共に研修動画配信サイトを利用している。有益な内容で職員からは改めて自覚が高まったという感想を得ている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今の所虐待はおきていない。研修を受けて注意を払うようしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	代表者が行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		契約時、本人・家族に苦情相談窓口と仕組みについて説明している。また、運営推進会議の議事録や個別の手紙を家族へ送付し、意見を尋ねている。コロナ禍で家族の訪問が減り、対面で意見を聞く機会が減っているため、電話や手紙を通して思いを汲んでいる。家族の要望からオンライン面会を実現させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個々に相談に応じ話す機会を設けており、代表者に相談している。	管理者は毎月のミーティングに加え、普段から職員の意見や要望に耳を傾け、運営に活かしている。代表は個別面談を行い、直接職員の思いを聞く機会を設けている。業務内容の見直しや備品購入の際は、職員の意見や気づきをもとに検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ビデオ研修などで知識向上に努める。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業他社との交流はない。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の意思しっかりされている利用様には不安な事や要望をその都度伺っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護計画書を作成する段階で家族様の要望を伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度、本人、家族様のご希望を伺い、ケアマネジャーや管理者などに相談している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみなど手伝って頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響で直接会う事が出来ない場合も電話やオンライン面会などの利用で支援を行う。	事業所はセンター方式にて、利用者の生活歴などの情報を職員間で共有している。現在コロナ禍にあり、家族や知人との対面の面会に制限があるものの、家族の協力の下、自宅への帰宅や法事出席など外出を支援している。馴染みの関係を保つために、オンライン面会を整備し、感染対策を講じた面会場所の設置も検討中である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他の利用者さまのお部屋に行かれ会話されたりしています。レクリエーション、ラジオ体操など一緒にできるよう努めている。話題などのきっかけ作りを支援。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お話ができる利用者さまには本人の希望を聞いたりしている。意思疎通がうまくできない利用者様への理解にも努める。	職員は、利用者に寄り添いながら日常の何気ない会話から利用者の思いを汲んでいる。暮らしの中で、出来ること出来ないことを把握しセンター方式にて記録し、一人ひとりの暮らし方を検討している。会話が困難な場合は、家族の協力やこれまでの情報から、本人本位の支援を検討し、支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	私の暮らしシートを活用し生活歴やこれまでの生活などの把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来るできない表を作成し1人1人の出来る事の把握を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回カンファレンス実施している。家族の参加はできていない。	“入居時基本情報シート”の他、“生活史シート”“私の暮らし方シート”に本人・家族が記入しており、それを参考に丁寧にアセスメントを行っている。3ヶ月毎のモニタリング、状況変化に応じた会議を開いている。サービス担当者会議には、可能な限り利用者本人に参加してもらい、介護計画を作成している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートを活用している。カンファレンスで相談を行い、介護計画の見直しに行かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアなどの参加してもらう。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に主治医のご希望を家族様に伺っている。通い慣れた主治医に訪問診療に来て頂いています。訪問診療時体調など報告をしている。	入居前からのかかりつけ医の受診は継続でき、その他に夜間緊急時の対応ができる協力医がいることは本人・家族の安心に繋がっている。希望者は訪問歯科診療を利用でき、体調や医療の情報は家族の来所時に伝えており、受診結果は個人記録に記入し、申し送り時に職員間で共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の変化を観察し異常があれば報告する。必要な場合は主治医に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院のソーシャルワーカーと連絡を行い情報交換に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様には体調変化時等その都度連絡を入れ、主治医とも面談して頂いています。	入居時に「重度化した場合における重要事項説明書」にて方針を説明し、家族の署名を得ている。重度化の場合は家族に相談して対応することとしている。看取りについては原則行わないとしているが、医療行為の必要がない場合は、かかりつけ医と連携し支援している。ただし、方針の明確化はこれからである。	事業所としての看取りに関する方針、終末期に移行する際の対応について、家族が理解しやすいよう明確化が望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成しリーダー業務を行う際に周知している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	避難訓練を行っている。消防点検も実施されている。	夜間勤務者を含めた職員と参加可能な利用者で火元想定避難訓練を行っている。事業所は耐震構造建築であり、地震対策として家具の固定を検討している。避難レベルの変更に伴うマニュアルの見直しや非常時の連絡網の確認、地域との連携が今後必要だと考えており、現在取り組んでいる。	避難の手順方法等のマニュアル、非常時の連絡網の確認、地域との連携など、現状に即した内容の見直しに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬語で話すよう努めている。排泄時などは居室のドアを閉める配慮を行う。	職員は、利用者への声掛けが馴れ馴れしくならないよう心掛け、人格を尊重した支援に努めている。トイレ誘導など羞恥心への配慮が必要な支援については、折に触れて自らの言葉や接し方の気づきを議題に不適切ケアにならないよう、話し合っている。個人情報鍵のかかる棚で管理し、職員は守秘義務を理解し徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の意思を尊重できるような声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さま1人1人自由に過ごされています。その時の利用者さまのご希望を聞いています。可能な限り利用者様のペースに合わせている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に一度は訪問美容サービスがある。時折お化粧したり、口紅を塗っておしゃれ出来る様行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には食後の下膳を利用者さまにお願いしている。	外部委託の調理人が、事業所調理場で調理している。毎年の食事アンケートや日々の感想を調理人に伝え、献立や味付けに反映している。利用者の体調によっては代替への対応もある。食が進まないときは、家族に好物を持参してもらい、毎食時に提供している。誕生会や行事食など、食事を全員で楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるし栄養バランスの取れた献立。バイタル表にて1人1人の食事量、水分量を把握。水分量が少ない利用者さまには飲み物の提供。その時の状態でとろみをつけたり、刻みにしたりする。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の訪問診療、月2回歯科衛生士による口腔ケアをして頂いている。自分で歯磨きができない利用者様には毎食後職員が口腔ケアを実施している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	布パンツを使用して自立してトイレ利用を行っている。観察や申し送り等で排泄がうまく出来る用トイレ誘導の工夫し介助する、	事業所は、トイレでの座位による排泄に取り組んでおり、支援の状況は、排泄チェック表に記録している。利用者の希望を優先し、パッド類の使用方法やトイレ誘導方法を検討している。無理強いせず、利用者のペースを見ながら声掛けすることで、排泄の自立に近づいている例もあり、支援の反映が見てとれる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師の指示の下緩下剤を利用している。水分を促したり、運動を促したりして個々にあった声掛けを行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調に合わせて入浴する。入浴の拒否が強い利用者様には声掛けを行い本人様の調子が良い時に入浴を行っている。	週2回を目安に、入浴を支援している。体調不良や入浴拒否の場合は、状況に合わせて別日で対応している。基本的には1人介助だが、利用者の体力に応じて、2人で介助し安心して入浴できるよう支援している。同性介助の希望にも応じている。入浴時は会話を楽しんだり、季節を感じる菖蒲湯など、入浴を楽しむ工夫がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具は利用者様の好みがあれば使用。眠りやすい環境を整え、安心して眠れるように努めている。(電器アンカ使用等) ソファにて休息する際、ひざかけを利用したりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳やお薬一覧表にて副作用や用量など確認できるようにしている。申し送りノートで臨時薬が分かるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今は外出は難しいですが、好きなお菓子を買ったりし間食されています。洗濯ものなどたたくて頂く。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの影響により外出支援を行えていない。近くへの散歩などの支援。	新型コロナ禍以前は、外出など企画して出掛けていたが、現在は、コロナ禍にあるため感染予防の観点から外出を自粛している。そのため、建物ベランダで外気浴し気分転換を図っている。市中感染の状況を見ながら、少人数での事業所周辺を散歩するなど職員の工夫が確認できる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物などのおかねは施設が一旦立替している。紛失の恐れがある為基本持ち込みをお断りしているが、どうしても場合は家族様と十分に相談を行い、家族様の了承のうえ所持しておられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持って来られている利用者様もおられ自由に家族様に連絡を取られている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、壁などに季節の絵などを貼ったりしている。	以前病棟だった建物の廊下部分を改修してリビングスペースとしており、職員の目が行き届きやすい空間となっている。空調設備を完備している他、時間を決めて職員が定期的に換気を行っている。広いベランダからは景色がよく見えて、利用者が外を眺めて季節の移ろいや外気を感じることができ、心地よいスペースとなっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	部屋が個室になっているのでひとりになりたいたい時はお部屋で過ごす事ができます。リビングにはソファも設置しており、気のあった利用者様同士で過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビやなじみの物をご家族様と相談を行い、施設に持ってきて頂いています。	居室には、電動ベッド・整理ダンスを設置している。家族の記念写真・テレビ・愛読している雑誌の他、使い慣れた家具や調度品等を揃えた居室となっている。以前は病室であったため閉鎖性が高い環境であったが、入口に暖簾をかけて居室が明るく開放的な空間になるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るできない表を作成し利用者さま1人1人出来る事を自立して行って頂いている。		